SONY

2-892-695-**01**(1)

ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

"ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

D-NE241

  Printed in China

ヘッドホンのプラグをリモコンにしっかり差し込んでください。

ご注意

本機を操作するときは、付属のリモコンをお使いください。付属のリモコン以外では本機を操作することはできません。

* ボタンに凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

本機で再生できるディスク

- 音楽CD(CD-DA フォーマット)
- MP3 CD(ソフトウェアを使ってMP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク*)

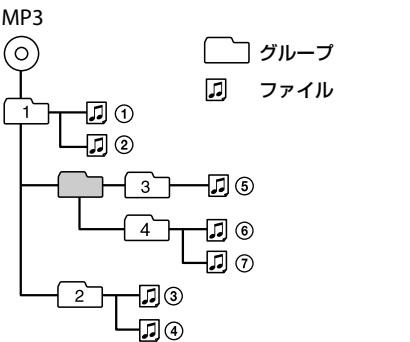
* ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

対応しているビットレートとサンプリング周波数は以下のとおりです。
可変ビットレート(VBR)にも対応しています。

	ビットレート	サンプリング周波数
MPEG-1 Layer3	32 kbps - 320 kbps	32/44.1/48 kHz
MPEG-2 Layer3	8 kbps - 160 kbps	16/22.05/24 kHz
MPEG-2.5 Layer3	8 kbps - 160 kbps	8/11.025/12 kHz

MP3 CDについて

使用できるグループ数とファイル数
- 最大グループ数:256
- 最大ファイル数:512

再生の順番
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。下記MP3 CDの例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。

(使用できる最大ディレクトリ階層:8階層)

ご注意

- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合もあります。
- MP3ファイルのディスクでは、MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。

電源

乾電池(別売り)で使う

1. **OPENつまみをスライドさせ、本体のふたを開け、中の電池ぶたを開ける。**
2. **単3形(LR6)アルカリ乾電池2本を⊕の表示に合わせて入れ、電池ぶたと本体のふたを「カチッ」と音がするまで閉める。どちらの電池も⊖側を先に入れる。**

電池の持続時間*

G-PROTECTIONの設定	G-on	G-off
音楽CD	約16時間	約11時間
MP3 CD(128 kbpsで記録されたCDの場合)	約23時間	約23時間

* 電子情報技術産業協会(JEITA)の測定方法に基づいています。
本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状態によって異なります。

- ▭ の中の部分は残量のめやすを表わしています。1つが4分の1を示しているわけではありません。
- 消耗した乾電池の場合は、「Lo batt」と表示します。

ACパワーアダプターで使う

本機のDC IN 4.5V(⊖◎⊕)端子に差し込んだあと(A)、壁のコンセントへ差し込んでください(B)。

CDを聞く

1. **OPENつまみをスライドさせ、ふたを開け、中心の黒い部分にCDを合わせて入れ、ふたを閉める。**
2. **►IIボタンを押す。**
1曲目から再生するには、停止中に、再生が始まるまで►IIボタンを押したままにする。
前後のグループを移動する*には、はじめにGROUPボタンを押し、🗀+または🗀–ボタンを押す。(リモコンの場合、🗀+または🗀–ボタンを押す。)
* MP3 CDのみ

ご注意

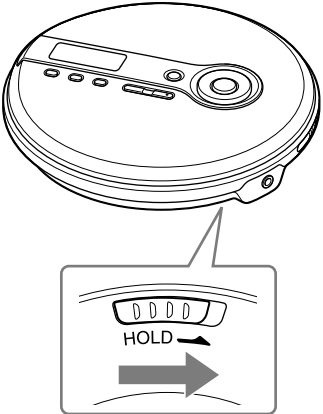
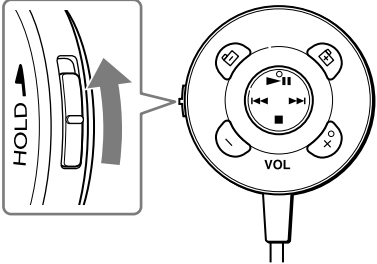
- 本機は、オーディオCDやMP3フォーマット、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)とCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。
パソコンでCDを作成する場合は、ファイナライズ(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をしてください。ファイナライズ作業については、CDを作成するソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- ATRAC3やWMAなど、CD-DAとMP3以外のフォーマットは再生できません。
- 本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。
- 本機は、CDによって、再生できるファイルと再生できないファイルが含まれた合計数を表示する場合があります。ただし、再生できないファイルはスキップするため、再生できるファイルのみ自動的に再生します。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

誤操作を防止する(ホールド)

誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

ホールド状態にするには
本体裏面、またはリモコンのHOLDスイッチを、矢印の方向にスライドします。

本体

リモコン

ホールド状態を解除するには
本体で操作する場合は、本体のHOLDスイッチをもとの位置に戻し、リモコンで操作する場合は、リモコンのHOLDスイッチをもとの位置に戻します。

DIGITAL MEGA BASS(低域強調)機能

再生中に・SOUND ━ AVLSボタンを繰り返し押して、「SND 1」または「SND 2」を選びます。
音がひずむときは、音量を下げてください。

AVLS*(快適音量)機能

*Automatic Volume Limiter System

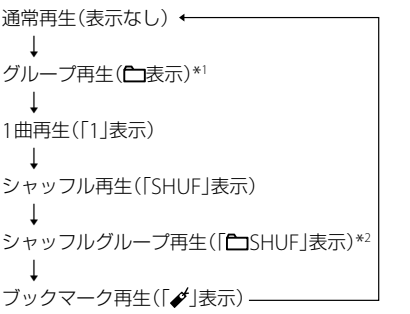
・SOUND ━ AVLSボタンを押したままにします。「AVLS」表示が3回点滅したら、AVLS機能が働いています。
1回しか点滅しなかったら、AVLS機能は働いていません。その場合は、「AVLS」表示が3回点滅するまで・SOUND ━ AVLSボタンを押し続けてください。

AMS*/サーチ機能

*Automatic Music Sensor

曲の頭出しをするには、I◄◄/►►Iボタンを1度、または繰り返し押します。
早戻しや早送りをするには、I◄◄/►►Iボタンを押したままにします。

再生モード機能

再生中に、・P MODE ━ ⮌ボタンを押す。
押すたびに、以下のように、再生モードの表示が変わります。

選んだ再生モードで繰り返し再生する場合、⮌が表示されるまで・P MODE ━ ⮌ボタンを押したままにします。

*1 選んだグループに含まれる全曲または全グループを1回再生します。MP3 CDのみ。
*2 選んだグループに含まれる全曲を順不同に1回再生します。MP3 CDのみ。

G-PROTECTION(音飛び防止)機能

ジョギングのように動きながらCDを聞くときに、音飛びするのを防ぎます*。
初期設定は「G-on」です。「G-off」を選ぶには、停止中に►►Iボタンを押しながら、►IIボタンを押します。CD本来の高音質で再生するには、「G-off」に設定してください。
「G-on」設定時は、音飛び防止のため、CDのデータを先に読み込みます。その場合、再生中にCDの回転が止まることがありますが、再生には影響ありません。

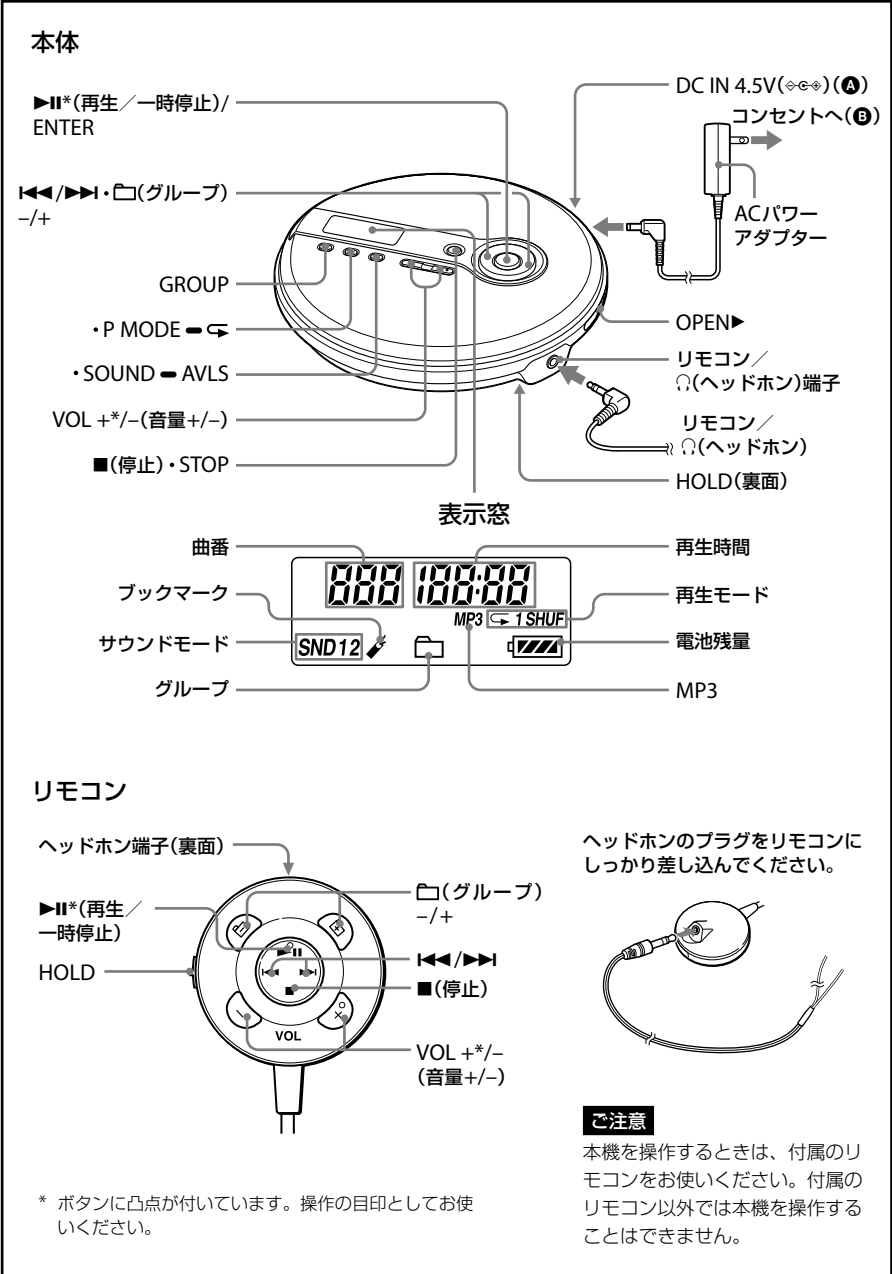
* 次のような場合、音が飛ぶことがあります。
強い衝撃が連続的に与えられた場合、傷や汚れのあるCDを聞いているとき、CD-R/CD-RWでは、ディスクの質がよくなかったり、記録に使用したレコーダーの状態やソフトに問題がある場合。

ブックマーク再生

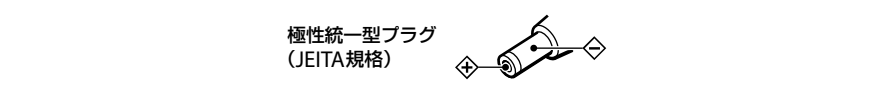
好きな曲にブックマーク(しおり)を付けておくと、ブックマークを付けた曲だけが曲番の小さいほうから順番に再生されます。

1. **ブックマークを付けたい曲の再生中に、「✐(ブックマーク)」がゆっくり点滅するまで►IIボタンを押したままにする。**
2. **ステップ1を繰り返して、好みの曲にブックマークを付ける。**
3. **「✐」が点滅するまで・P MODE ━ ⮌ ボタンを繰り返し押す。**
4. **►IIボタンを押す。**

ブックマークを消すには
ブックマークを付けた曲の再生中に、「✐」が消えるまで►IIボタンを押したままにします。

CDを入れ替えて再生を開始すると、前のCDで記憶されていたブックマークは、すべて消去されます。

使用上のご注意

電源について
- 本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。
- 本機には、本体での充電機能はありません。

ACパワーアダプターについて
- 必ず付属のAC パワーアダプターをご使用ください。他のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

- ACパワーアダプターは容易に手がとどくような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の取り扱いについて
- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。
  CDに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  – 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  – ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  – 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  – ホコリの多いところ。
  – ぐらついた台の上や傾いたところ。
  – 振動の多いところ。
  – 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはソニーの相談窓口に相談してください。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

DualDiscについてのご注意
- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

お手入れ

キャビネットの汚れは
柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

プラグの汚れは
プラグが汚れてくると、音が出なかったり、雑音が聞こえたりします。柔らかい布で定期的に乾ぶきしてください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ボタンを押すと「Hold」が表示され、再生が始まらない。
➔ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLD状態を解除してください。

同じ曲が繰り返し再生される、曲順が正しく再生されない。
➔ 再生モードを確認する。詳しくは、「再生モード機能」をご覧ください。

再生中に、CDが止まることがある。
➔ G-PROTECTION（音飛び防止）機能による動作です。故障ではありません。CDのデータを先に読み込み、音飛びが起こりにくくしています。

VOL＋ボタンを繰り返し押しても音量が上がらない。
➔「AVLS」表示が1回点滅するまで・SOUND ➡ AVLSボタンを押し続け、AVLS機能を解除する。

再生が始まらない。
➔ CDが汚れているときは、CDをクリーニングする。CDに大きな傷があるときは、CDを交換する。
➔ CDが裏返しになっている。文字のある面を上にする。
➔ 結露（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着）している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。
➔ ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
➔ CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
➔ CD-R/CD-RWに何も録音されていない。
➔ 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
消耗した乾電池の場合は、「Lo bAtt」と表示します。

ファイル番号が表示されるが、ファイルがスキップされ、再生されない。
➔ 本機で再生可能なフォーマット以外のファイルを再生している。

「Lo bAtt」が表示される。
➔ 電池が消耗しています。すべて新しい電池に交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）
1bitクォーツ時間軸制御

出力端子（電源電圧4.5 V時）
ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）
最大出力レベル5 mW＋5 mW
（JEITA/16 Ω）
推奨負荷インピーダンス16 Ω

電源
- 単3形（LR6）アルカリ乾電池2本（別売り）：
  DC 1.5 V×2
- 外部電源ジャック：定格DC 4.5 V
  ACパワーアダプターを接続してAC 100 V電源から使用可能

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約140.0 mm × 32.7 mm × 140.0 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約140.0 mm × 33.4 mm × 140.0 mm

質量
本体：約210 g
約256 g（乾電池を含む）（JEITA*）

動作温度
5 ℃～ 35 ℃

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CEマークは、それが法的に強制されている国—主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国—でのみ有効です。

製造年は本体のふたの内側に表示されています。

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術とその特許に基づく許諾製品です。

付属品
リモコン（1）
ヘッドホン（1）
ACパワーアダプター（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

お問い合わせ先について
本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記までお知らせください。
- 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］—［ウォークマン］です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  – 型名
  – ご相談内容：できるだけ詳しく
  – お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「302」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1